

# 10月21日(土) 台風21号のため中止 17秋の藤前干潟クリーン大作戦 上下流交流会を実施(雨企画) Report

10月21日(土)に実施予定の第27回18秋の藤前干潟クリーン大作戦は、台風21号が東海地方に接近・上陸が予測され、降雨が確実視されていたため、実行委員会としては、異例の前日中止を決定しました。当日は、朝から雨が降り続けましたが、雨企画として予定していた、庄内川最上流の恵那市三郷町の皆さん27人を含め63人で「上下流交流会」を実施しました。

交流会は、いつものクリーン大作戦と同様、長谷川さんの唄で開会し、坂野実行委員長の挨拶に続いて、恵那市三郷町の皆さんが、最上流の山や川の実態や藤前干潟のごみの多さにびっくりしたことなどを6人の方々が次々に発言して頂き、最上流の恵那市のことを勉強しました。中部大学の藤浪リーダーと1班から6班とヨシ原調査班の班長、副班長を行う予定だった学生が、班旗を掲げて「中止が残念だった」「次回は必ずやりたい」など積極的な発言で交流会を盛り上げてくれました。雨の中、国交省西庄内川河川事務所長も駆けつけて頂き激励の挨拶をいただきました。

最上流の水を含め流域4地点の「水質調査」を恵那市の皆さんに加わって行いました。交流会の締めは、クリーン大作戦名物の庄内川最上流の山で獲れたイノシシの「シシ汁」と焼き肉を食べながら、和やかに歓談し、愛地クリーンプロジェクトの古森さんのまとめで会をお開きしました。



上下流の参加者全員で記念写真



坂野実行委員長 西事務所長 司会の村上さん 長谷川さんの唄で開会 まとめは古森さん



雨の中、三郷町の皆さんが恵那市のマイクロバスで到着です。



恵那市三郷町の6人の方が、恵那市の山の状況や藤前干潟の感想を口々に発言して頂きました。



クリーン大作戦が行われれば、班長・副班長を務めてもらう予定だった中部大学の皆さん。心強い発言が相次ぎました。

<会場で水質調査> 流域4地点の水質調査を恵那市の皆さんも一緒になって会場で行い発表しました。いつもは結果しか見ていない参加者は興味津々でした。



交流会の締めは、シシ汁と焼き肉でした。いつものように藤前干潟を守る会の佐野さんと坂野さん(上の写真)が調理して頂きました。焼き肉は中部大生の担当です。西事務所長は、上流の方々と親しく歓談して頂きました。春は必ずとの気持ちを確認しました。

# 三郷の川のクリーン大作戦でも「交流会」



11月11日(土)の恵那市の三郷の川のクリーン大作戦に藤前干潟クリーン大作戦として、イオンチアーズ茶屋店の皆さんと一緒に18人で参加しました。清掃活動終了後、恵那市三郷町の三郷町振興事務所会議室で「上下流交流会」が行われました。下流からの参加者は、庄内川最上流の山や川の環境を堪能すると共に、平日頃経験できない「ガサガサ」や上流域の文化に触れる「交流」しました。チアーズの子供たちはいきいきと活動していました。



今回、陽の目を見ませんでした、秋の大作戦に、ご支援・ご協力ありがとうございました！（敬称略）

＜トイレ設置＞  
大日本土木（株）

＜会場整備＞  
国交省庄内川河川事務所



写真は17春のもの

＜ゴミ袋＞  
(株)電通名鉄コミュニケーションズ  
(一社)名古屋清港会

＜プラスチックロープ＞  
IPG(産業廃棄物専門家集団)



＜医師派遣＞ 愛知保険医協会  
＜会場整備＞ 正色学区消防団、EM工業  
＜駐車場＞ 下之一色魚市場  
今後もご支援・ご協力よろしくお願いします。

## 運営資金カンパと賛助会員の募集のお願い 藤前干潟クリーン大作戦実行委員会

藤前干潟クリーン大作戦実行委員会は、2004年10月5日に ①ラムサール条約に恥じない藤前干潟にする ②子供たちが安心して遊べる干潟や川を取り戻す ③流域全体のゴミや水のことを考えるネットワークを形成することを目的に結成し活動してきましたが、平成30年度に結成15周年を迎えます。

第1回は240人の参加だった本取組が、多くの皆さんの支えのお陰で、2,000人を越える参加者がある土岐川・庄内川流域の、春と秋の官民協働・流域一体の恒例行事に定着しました。ありがとうございます。

この間、当実行委員会の運営資金は、公益財団法人河川財団による「河川基金」、一般財団法人セブンイレブン記念財団の助成、一般社団法人中部地域づくり協会の地域づくり助成、なごや環境大学共育講座、等の助成を受けて運営してきました。来年度もすでに一部の助成制度に申請し助成決定のあることを願っているところです。

当実行委員会としては、助成金だけに頼った運営から自前の運営資金の確保をすることが、15年目の節目を迎えた組織として大切なことだとの認識を深めています。

については、独自の運営資金確保の一環として、① 第28回18春の藤前干潟クリーン大作戦の会場で任意の運営資金カンパをお願いします。また、② 参加企業様に賛助会員(1口3千円程度)になって頂くことをお願いしたいと考えています。

18春の大作戦時にご賛同頂ける方のご協力を心からお願いします。

この取組は、  
一般財団法人セブン・イレブン記念財団  
公益財団法人河川財団による河川基金  
の助成を受けて実施しました。



藤前干潟クリーン大作戦実行委員会  
<http://cleanupfujimae.jimdo.com/>

EcoStock実行委員会、土岐川・庄内川流域ネットワーク、NPO法人藤前干潟を守る会、IPG(産業廃棄物専門家集団)、庄内川川ナビ歩こう会、NPO法人モリゾー・キッコロと環境活動をすすめる会、リバーサイドヒーローズ/多治見さかなの会、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議、土岐川・庄内川源流の森委員会、名古屋市稲永スポーツセンター、なごや舞祭衆、中部大学ボランティア・NPOセンター、名古屋市野鳥観察館、愛地クリーンプロジェクト、中部大学上野研究室